

レベル調整機能付きデジタル音声分配器

# DDA-70AES-L, -L(TR)

AES DIGITAL DISTRIBUTION AMP

**取扱説明書**

このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。  
安全に正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

## この製品を安全にご使用いただくために



### 警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

#### 1) 電源プラグ、コードは

- ・定格で定められた電源以外は使用しないでください。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。
- ・電源コードの上に重い物を載せないでください。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

#### 2) 本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。
- ・消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

#### 3) 修理等は、弊社サービスにお任せください

- ・感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。
- ・故障の場合は、弊社 製造技術部へご連絡ください。

#### 4) その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
- ・質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。
- ・冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめてから行ってください。
- ・車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
- ・ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。
- ・機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。



## 注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

### 1) 機械の持ち運びに注意してください

- ・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。  
また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

### 2) 外部記憶メディア対応の製品では

- ・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクタの故障の原因になります。  
マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
- ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

### ● 定期的なお手入れをおすすめします

- ・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。  
また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。  
安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。  
期間、費用等につきましては弊社 製造技術部までお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社 製造技術部までご連絡ください。

ビデオトロン株式会社 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2-17-16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30~17:00

E-Mail [cs@videotron.co.jp](mailto:cs@videotron.co.jp)

<土曜・日曜・祝祭日の連絡先>

留守番電話 042-666-6311

緊急時 090-3230-3507 (携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承ください。)

受付時間 9:00~17:00

## 保証規定

・本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。

- (1) ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。
- (2) 適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。
- (3) 火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。
- (4) 当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。
- (5) 当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

・修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

- (1) 生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。
- (2) 交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。
- (3) 修理費の総額が製品価格を上回る場合。
- (4) 落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

・アプリケーションソフトについて

- (1) 製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。
- (2) アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

何卒、ご理解の程よろしくお願いたします。

..... 目 次 .....

この製品を安全にご使用いただくために.....	I
保証規定.....	III
1. 概 説.....	1
《特 長》.....	1
2. 機能チェックと筐体への取り付け.....	1
1. 構 成.....	1
2. 取り付け.....	2
3. オーディオケーブルの取り付け方.....	2
4. POWER ON までの手順.....	2
5. 基本動作チェック.....	3
3. 各部の名称と働き.....	4
4. 操作方法.....	6
1. 基本操作.....	6
2. 操作例.....	6
3. オフセットモード.....	7
4. メニューツリー.....	8
5. SNMP 通信からのレベルコントロール.....	10
6. 工場出荷時の設定.....	11
5. トラブルシューティング.....	13
6. 仕 様.....	14
1. 定 格.....	14
2. 性 能.....	14
7. ブロック図.....	15
8. 外形寸法図.....	16
9. SNMP.....	17

## 1. 概説

DDA-70AES-Lは、レベルコントロール機能付きのAES/EBUデジタル音声分配器です。2系統の独立した入力があり、それぞれ4分配することができます。内部の設定で1系統を8分配することもできます。レベル調整機能は、入力レベルと出力レベルが±20dBの範囲でプリセットできます。出力レベルはチャンネル毎にLとRが調整できます。サンプリング周波数は32k/44k/48kHzに対応し、自動でリクロックします。入出力コネクタは、ターミナルとBNCの二種類から選択することができます。

### 《特長》

- ・出力チャンネル毎にLとRのレベル調整が可能で、±20dBの範囲でプリセット可能
- ・音声のレベル調整は0.1dBのステップで細かく調整可能
- ・独立した2系統のAES/EBU信号を各々4分配可能
- ・内部の設定で1系統のAES/EBU信号を8分配することも可能
- ・自動リクロックを内蔵
- ・サンプリング周波数(32k/44k/48kHz)は入力信号に応じ、自動切替え可能
- ・SNMP通信からレベルコントロールを行う事が可能 ※1 ※2

※1 Vbus筐体にSNMPモジュールを実装する必要があります。

※2 SNMP通信でのレベルコントロールを行う場合、MIBデータを参照しSNMP通信を行って下さい。

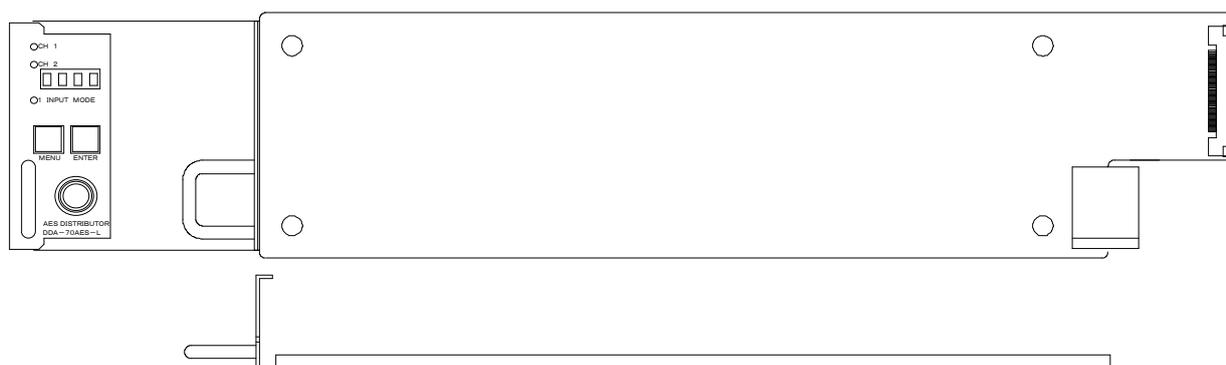
またはレベルコントロール用アプリケーション(オプション)を使用してください。

## 2. 機能チェックと筐体への取り付け

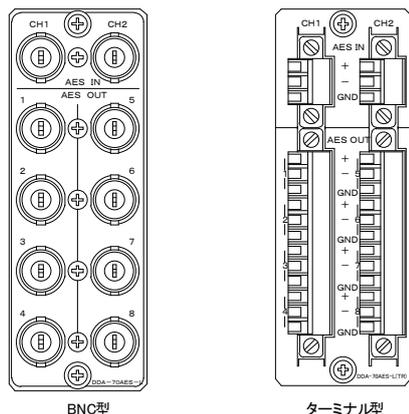
### 1. 構成

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	レベル調整機能付きデジタル音声分配器	DDA-70AES-L	1	
2	コネクタモジュール		1	
3	取扱説明書		1	本書
4	ターミナルブロック 3ピン	MC1.5/3-STF-3.5	2	ターミナル型のみ
5	ターミナルブロック 6ピン	MC1.5/12-STF-3.5	2	ターミナル型のみ

#### (1)メインモジュール



## (2)コネクタモジュール



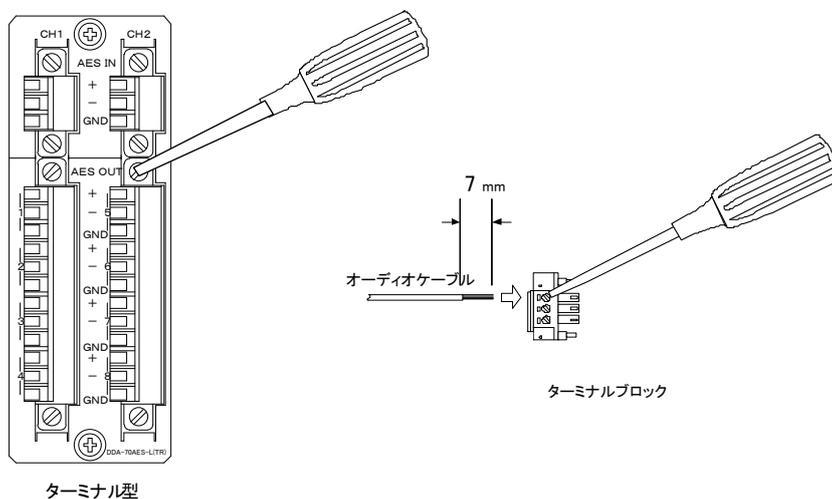
### 2. 取り付け

ご使用の際には、コネクタモジュール及びメインモジュールを筐体に取り付けてください。筐体はVbus-70シリーズのいずれにも対応します。ただし実装方法については「Vbus-70シリーズ取扱説明書」を参照してください。

### 3. オーディオケーブルの取り付け方

音声信号の接続は先バラの平衡ケーブルを使用します。

出荷時コネクタモジュールに取り付けてあるターミナルブロック両端のネジをマイナスドライバーで緩め、ターミナルブロックを引き抜きます。引き抜いたターミナルブロックに図1のように先バラのオーディオケーブルを挿入し、ターミナルブロックの側面にあるネジをマイナスドライバーで締め、ケーブルを固定させます。



### 4. POWER ON までの手順

- (1)メインモジュール及びコネクタモジュールを筐体へ正しくセットします。
- (2)筐体の電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。
- (3)AES INにAES/EBU信号を入力します。
- (4)AES OUTからの出力をAES/EBU入力対応モニタースピーカーなどに接続します。
- (5)筐体の電源スイッチを投入すると、筐体のパワーランプが点灯します。

## 5. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合は「5. トラブルシューティング」を参照してください。

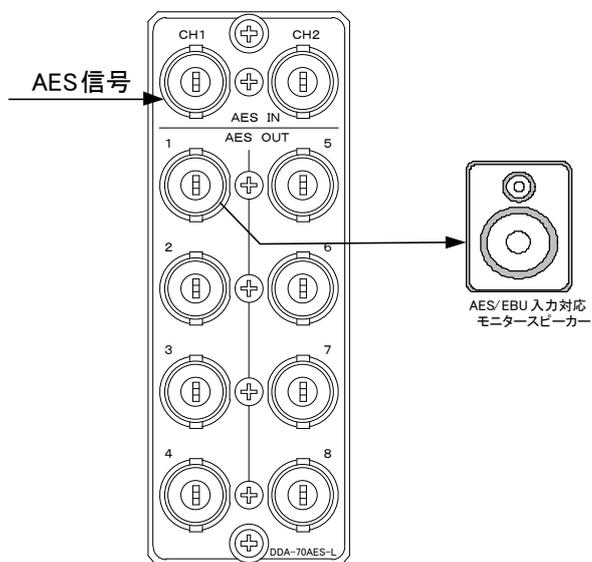
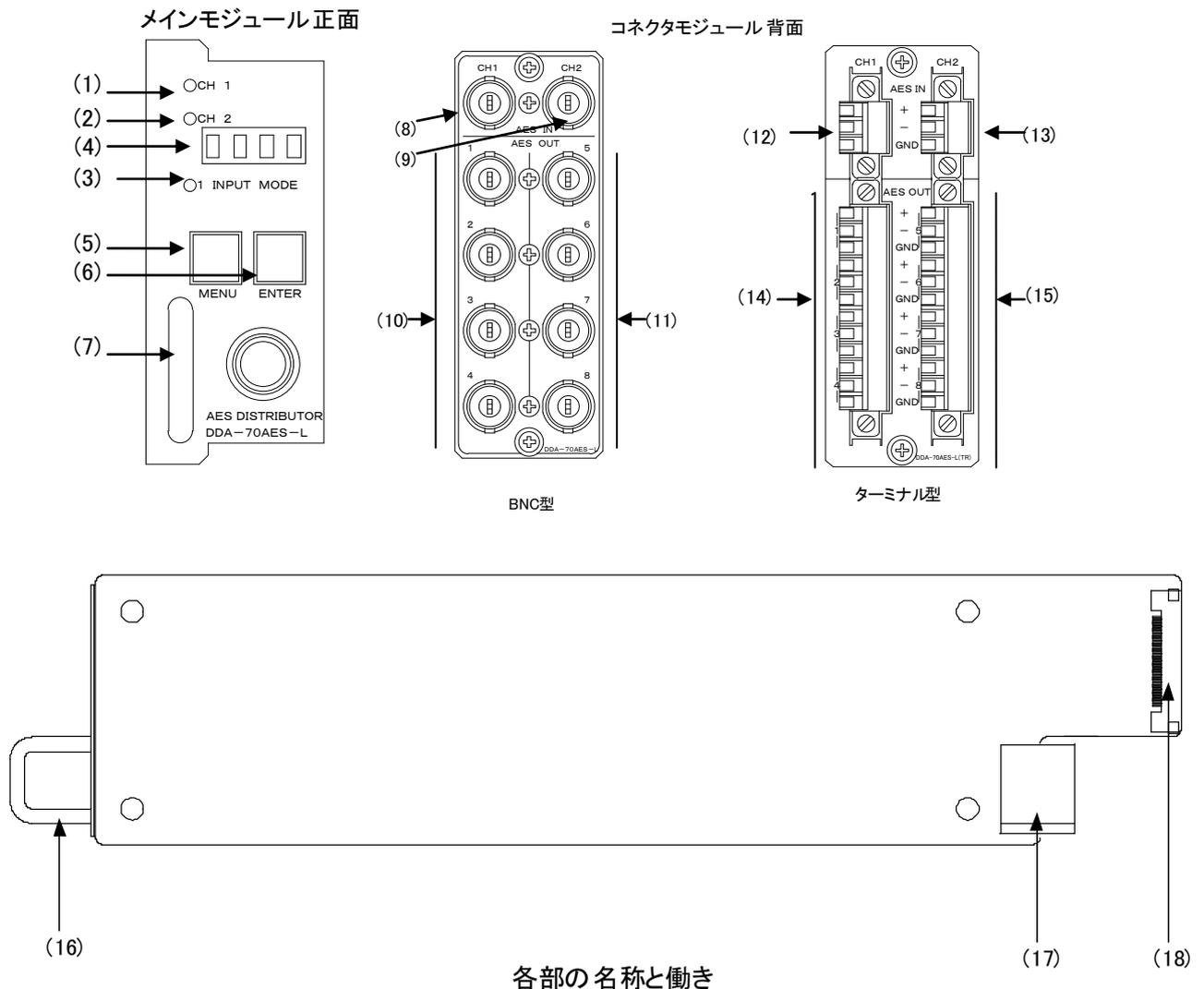


図2-5 基本動作チェック

- (1) AES/EBU信号をAES IN1コネクターに入力します。
- (2) AES OUTコネクターをAES/EBU入力対応モニタースピーカーへ接続します。
- (3) AES OUTコネクター1,2,3,4の出力が正常に出力されていることを確認します。
- (4) 同じ手順でAES IN2コネクターに信号を入力し、AES OUT5,6,7,8の出力も確認します。

### 3. 各部の名称と働き



各部の名称と働き

- (1) CH 1 ランプ  
AES IN 1コネクタにAES/EBU信号が入力されると点灯します。
- (2) CH 2 ランプ  
AES IN 2コネクタにAES/EBU信号が入力されると点灯します。
- (3) 1 INPUT MODE ランプ  
1入力8分配モード時に点灯します。
- (4) 表示器  
メニューモード時は、各種設定メニューを表示します。
- (5) MENUボタン  
各種設定を行う時に、メニューモードへ切り替えます。  
設定メニュー表示中はキャンセルの動作をします。

(6) ENTERボタン

メニューモード時、各種設定を行う時に決定します。

(7) ツマミ

各種設定を行う時に、ツマミを回して選択します。

(8) 75Ω BNC AES IN 1コネクタ

AES/EBU信号の入力端子です。

(9) 75Ω BNC AES IN 2コネクタ

AES/EBU信号の入力端子です。

(10) 75Ω BNC AES OUT 1～4コネクタ

AES IN1に入力された信号が分配出力されます。

(11) 75Ω BNC AES OUT 5～8コネクタ

AES IN2に入力された信号が分配出力されます。

1入力8分配モード時は、AES IN1に入力された信号が分配出力されます。

(12) 110Ω 平衡ターミナル AES IN 1コネクタ

AES/EBU信号の入力端子です。

(13) 110Ω 平衡ターミナル AES IN 2コネクタ

AES/EBU信号の入力端子です。

(14) 110Ω 平衡ターミナル AES OUT 1～4コネクタ

AES IN1に入力された信号が分配出力されます。

(15) 110Ω 平衡ターミナル AES OUT 5～8コネクタ

AES IN2に入力された信号が分配出力されます。

1入力8分配モード時は、AES IN1に入力された信号が分配出力されます。

(16) 取手

筐体との着脱を行う際はこの部分を持ちます

(17) 筐体接続部

筐体内部の基板に接続されるコネクタです。

(18) コネクタモジュール接続部

コネクタモジュールに接続されるコネクタです。

## 4. 操作方法

### 1. 基本操作

- (1) 電源投入直後は、モジュール正面の表示器に、機種名の「DDA-70AES-L」が表示されます。
- (2) モジュール正面の **MENU** ボタンを押すとボタンが点滅し、設定メニューに入ります。
- (3) ツマミを左右に回して設定メニューの項目を選択します。設定メニューをキャンセルする場合、**MENU** ボタンを押します。
- (4) **ENTER** ボタンを押して選択した項目を決定します。この時選択した項目によって更に下の階層メニューに移ります。  
階層下のメニューに入った場合、**MENU** ボタンを押すと一つ上の階層メニューに戻ります。
- (5) (3)、(4)の操作を繰り返し、設定の変更を行います。  
項目を選択した後、その設定を決定するには必ず **ENTER** ボタンを押してください。

### 2. 操作例

1. AES IN1の音声入力レベルを+5dB上げます。

**MENU** を押し設定メニューに入ります。

ツマミを回して【INVL】を選択し **ENTER** を押します。メニューが切り替わり、**1.000**、**2.000** を選択出来るようになります。一番左の数字がAES INの入力チャンネルを示し、右側3桁が可変レベルを示します。

**1.000** を選択し **ENTER** を押すと、AES IN1の入力レベルを+20.0~-20.0の範囲で調整できるようになります。

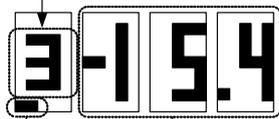
ツマミを回して+5dBに設定し、**ENTER** を押します。この時、レベルを変更しない場合は **MENU** を押すと、キャンセルできます。以上の操作で、AES OUT1~4の各出力レベルを+5dB上げることができます。

2. AES OUT2のL側音声出力レベルを+5dB上げます。

**MENU** を押し設定メニューに入ります。

ツマミを回して【OUTV】を選択し **ENTER** を押します。メニューが切り替わり、**1.000** ~ **8.000** を選択出来るようになります。一番左側の数字がAES OUTの出力チャンネルを示し、下のバーが左側にあるときはLチャンネル、右側にあるときはRチャンネルを意味します。残り3桁がレベルを示します。

設定変更する音声の出力チャンネル(1~8ch)



音声レベルの設定値(±20.0dB)

設定変更する音声のL/Rの識別。(アンダーバーが左下にあるとL側音声の設定、右下にあるとR側音声の設定)

**2.000** を選択し **ENTER** を押すと、AES OUT2の出力レベルを+20.0~-20.0の範囲で調整できるようになり

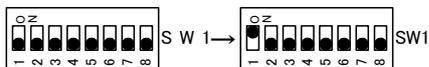
ます。

ツマミを回して+5dBに設定し、**ENTER** を押します。この時、レベルを変更しない場合は **MENU** を押すと、キャンセルできます。以上の操作で、AES OUT2のL側音声レベルを+5dB上げることができます。

### 3. オフセットモード

オフセットモードを使用すると、各出力グループの出力レベルのオフセットを設定することができます。

- (1) DIPスイッチの1番をONにします。



- (2) モジュールを筐体に挿し、電源を入れます。

- (3) **MENU** を押し設定メニューに入ります。

- (4) ツマミを回して【OUTV】を選択し、**ENTER** を押します。

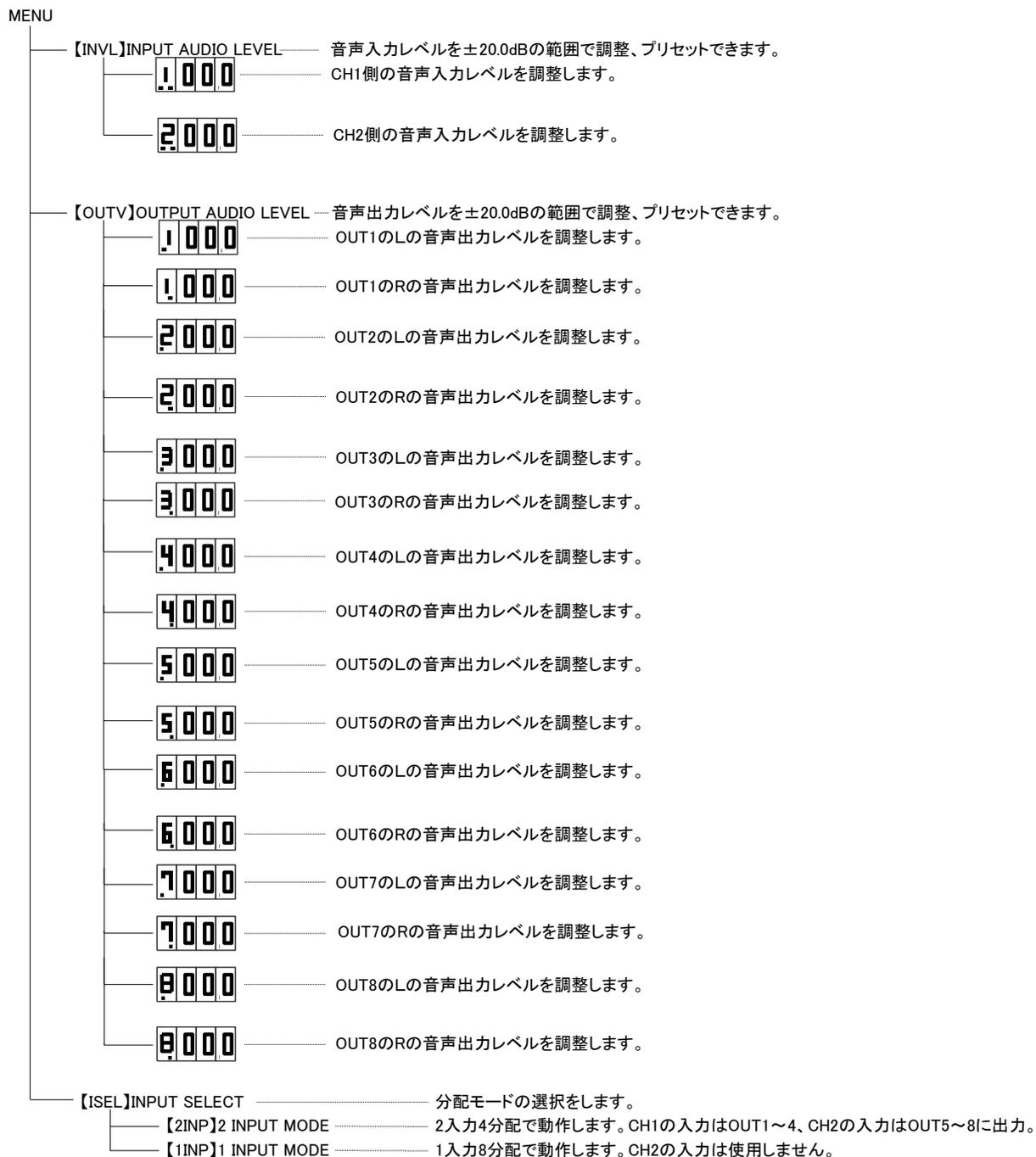
- (5) メニューが切り替わり、**1000.0**、**2000.0**、**1.0000** ~ **9.0000** を選択出来るようになります。

- (6) **1000.0** はAES OUT1~4(1 INPUT MODE時は1~8)の出力レベルオフセット、**2000.0** はAES OUT5~8(1 INPUT MODE時は無効)の出力レベルオフセットです。それぞれ、±10.0dBまで設定できます。

- (7) **1.0000** ~ **9.0000** はAES OUT1~8それぞれの出力レベルです。(6)で設定されたオフセットレベルを中心に、±10.0dBまで設定できます。なお、L Ch、R Chの出力レベルは別々には設定できません。

## 4. メニューツリー

### (1) 標準時



※

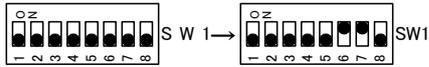
工場出荷時、全てのレベル調整値は0.00dBに設定されています。



## 5. SNMP 通信からのレベルコントロール

(1) DDA-70AES-LのSNMP通信機能を有効にします。

メインモジュール上のDIPスイッチの6番、7番をONにします。



DIPスイッチの変更方法は「6. 工場出荷時の設定」を参考にして下さい。

(2) 筐体にLANケーブルを差しネットワークに接続します。

工場出荷時、筐体のネットワーク設定は下記の値になっています。

IPアドレス:	192.168.1.1
ゲートウェイ:	0.0.0.0
サブネットマスク:	255.255.255.0

(3) 使用環境に合わせSNMPモジュールのネットワーク設定を変更します。

「9. SNMP MIB データ」のVbus筐体MIB データ表を参考にし、SNMP通信にて設定を変更してください。

※ 変更したネットワーク設定はメモに残しておいて下さい。ネットワーク設定はSNMP上以外では確認できません。

ネットワーク設定が解らなくなった場合は、SNMPモジュールのネットワーク設定を、リセットして下さい。

リセット方法は「4.6 工場出荷の設定」を参照してください。

	変更後設定値
IPアドレス:	
ゲートウェイ:	
サブネットマスク:	

(4) 「9. SNMP MIB データ」のDDA-70AES-L MIB データ表を参考に通信し、レベルコントロールを行います。

(5) レベルコントロール用アプリケーション(オプション)でレベルコントロールを行います。

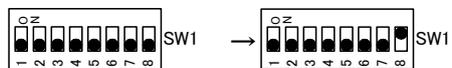
## 6. 工場出荷時の設定

下記の操作で工場出荷時の設定に戻ります。

筐体の電源スイッチをOFFにします。

「Vbus-70シリーズ取扱説明書」のモジュールの実装方法を参考にして、メインモジュールを取り外します。

メインモジュール上に8bitのDIPスイッチがあります。スイッチの8番をON(上)にします。



**注意！** DIPスイッチ以外の内部の部品には手を触れないでください。機器の破損・発火の原因となります。

メインモジュールを実装し、電源スイッチをONにします。DDA-70AES-L正面の表示器に「DDA-70AES-L」と表示され、表示機が点滅すると出荷時の設定に戻りますので、確認後電源スイッチをOFFにします。

再度メインモジュールを取り外し、スイッチの8番をOFF(下)に戻します。



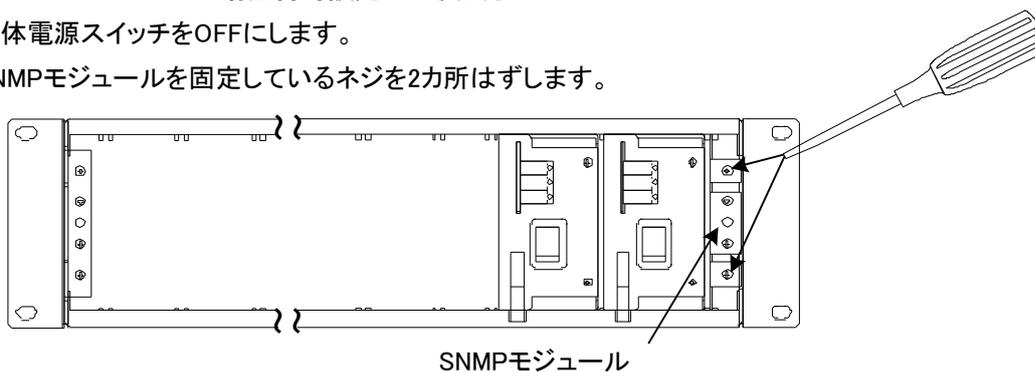
「Vbus-70シリーズ取扱説明書」のモジュールの実装方法を参考にして、メインモジュールを元に戻します。

以上で設定は終了です。

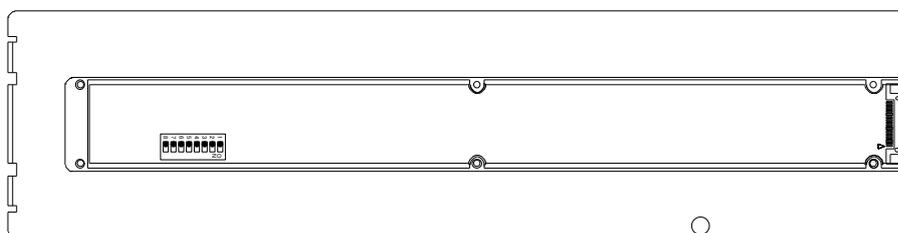
## SNMPモジュールの工場出荷時設定への戻し方

筐体電源スイッチをOFFにします。

SNMPモジュールを固定しているネジを2カ所はずします。



SNMPモジュールを真っ直ぐ引き抜きます。



SNMPモジュール上に8bitのDIPスイッチがあります。スイッチの6番をON(下)にします。

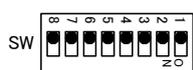


**注意！** DIPスイッチ以外の内部の部品には手を触れないでください。機器の破損・発火の原因となります。

SNMPモジュールを実装し、電源スイッチをONにします。工場出荷時の設定に戻るまで4分ほどかかります。

4分立ちましたら電源スイッチをOFFにします。

再度SNMPモジュールを取り出し、スイッチの6番をOFF(上)にもどします。



SNMPモジュールを元に戻します。

以上で設定は終了です。

## 5. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処法です。(文中の→は対処方法を示しています)  
筐体のトラブルに関しては、筐体の取扱説明書もあわせてご覧ください。

現象 電源が入らない。

原因

- ・本体正面の電源スイッチはON側になっていますか？
  - ・本体の電源ケーブルのプラグはコンセントに挿入されていますか？
  - ・本体のヒューズは切れていませんか？
- もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば、直ちに使用を中止し、当社製造技術部へご連絡ください。

現象 まったく動作しない！

原因

- ・筐体の電源ケーブルは接続されていますか？
  - ・筐体の電源スイッチはON側になっていますか？
  - ・メインモジュール(基板)は正しく挿入されていますか？
- 上記の内容に異常がなく正常に動作しない場合、本体もしくは筐体の故障が考えられます。  
当社製造技術部へご連絡ください。

現象 音声入力信号が正常に分配されない！

原因

- ・AES/EBU信号が正しく入力されていますか？ CH1またはCH2 ランプは点灯していますか？
  - ・出力はAES/EBU入力対応 モニタースピーカーに正しく接続されていますか？
- 上記の内容に異常がなく正常に分配されない場合、本体の故障が考えられます。  
当社製造技術部へご連絡ください。

現象 CH2の音声入力信号が正常に分配されない！

原因

- ・1入力8分配モードになっていませんか？
- 1入力8分配モードの時CH1の音声が入力が8分配されます。「P-8 4.メニューツリー」を参照し、2入力4分配モードに設定してください。

現象 SNMP通信が繋がらない！

原因

- ・筐体にSNMPモジュールが実装されていますか？
- SNMP通信を行うには筐体にSNMPモジュールが実装されている必要があります。  
実装の有無が解らない場合は、当社製造技術部へご連絡ください。

## 6. 仕様

### 1. 定格

#### 入力信号

・AES IN CH1、CH2

SMPTE 276M準拠、0.3-3V<sub>p-p</sub>/75Ω、BNC 各1系統  
または0.3-3V<sub>p-p</sub>/110Ω、3極着脱式ターミナル 各1系統

#### 出力信号

・AES OUT 1~8

SMPTE 276M準拠、1V<sub>p-p</sub>±10%/75Ω、BNC 各1系統  
または2.3V<sub>p-p</sub>±10%/110Ω、3極着脱式ターミナル 各1系統

#### 動作温度

0~40°C

#### 動作湿度

20~80%RH(ただし結露なき事)

#### 消費電力

1.5VA (5V,0.3A)

### 2. 性能

#### 入力特性

・AES IN CH1、CH2

分解能

24bit

サンプリング周波数

32/44/48kHz

入力信号振幅

BNC型 0.3-3V<sub>p-p</sub>/75Ω、ターミナルブロック型 0.3-3V<sub>p-p</sub>/110Ω

#### 出力特性

・AES OUT 1~8

分解能

24bit

サンプリング周波数

32/44/48kHz

出力信号振幅

BNC 型 : 1V<sub>p-p</sub>±10%/75Ω、ターミナルブロック型 : 2.3V<sub>p-p</sub>±10%/110Ω

出力遅延

60μs 以内

#### 歪率

サンプリング周波数

48kHz

0dBFS レベル調整 0dB

0.002%以下 (1kHz)

0dBFS レベル調整 -20dB

0.005%以下 (1kHz)

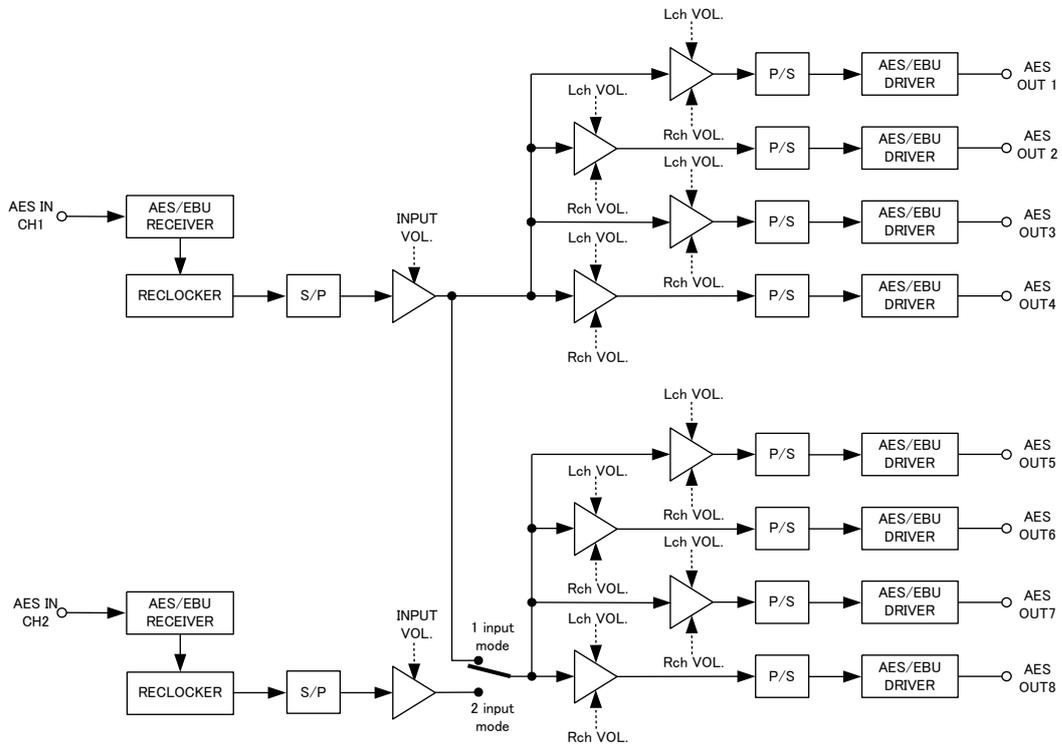
-20dBFS レベル調整 +20dB

0.002%以下 (1kHz)

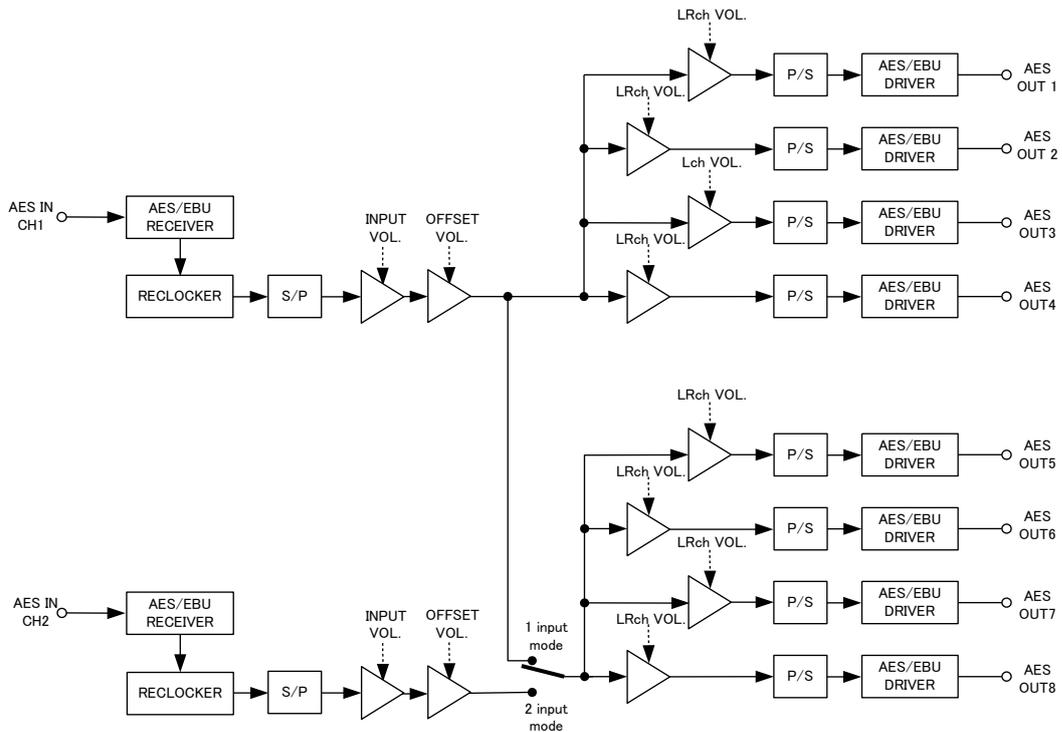
注.外観及び仕様は変更することがあります。

## 7.ブロック図

### 標準モード



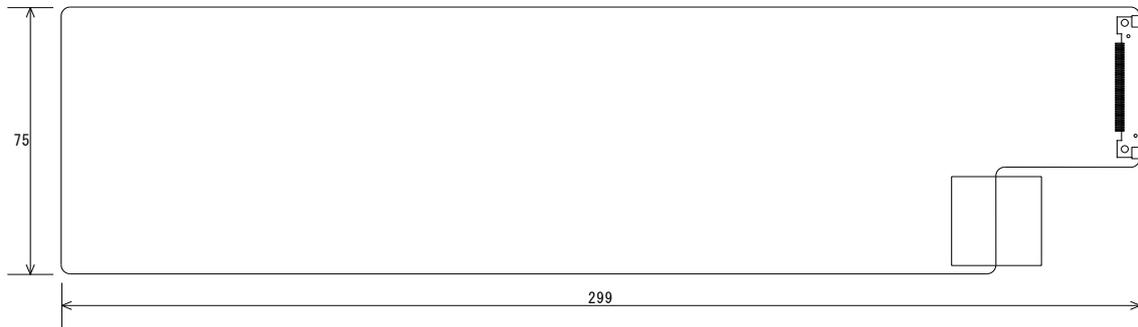
### オフセットモード



## 8. 外形寸法図

### ◇メインモジュール外形寸法

・299(L)×75(H) 210g(コネクタ及びコネクタモジュールを除く)

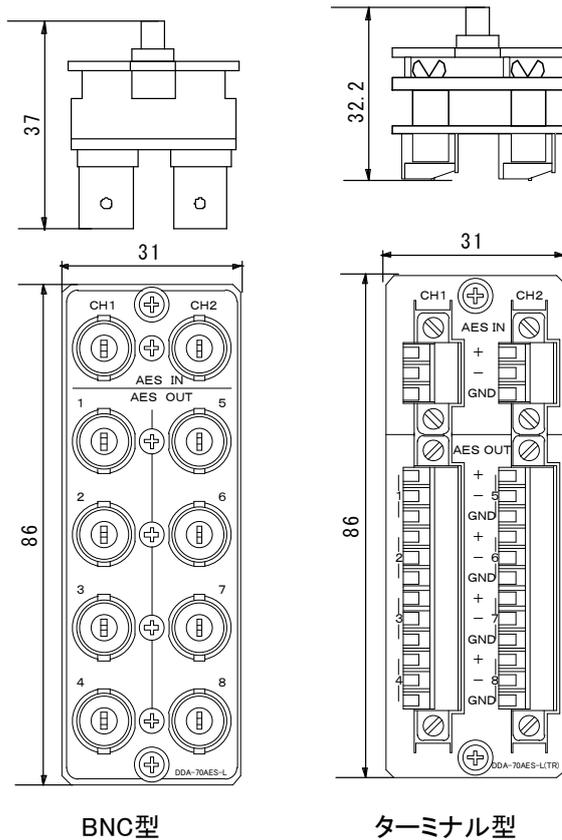


単位: mm

### ◇コネクタモジュール外形寸法

・BNC型 31(W)×86(H)×37(D) 120g

・ターミナル型 31(W)×86(H)×32.2(D) 55g



BNC型

ターミナル型

単位: mm

## 9. SNMP

DDA-70AES-LのMIBデータは、以下の表に対応します。

オブジェクト識別子は、1. 3. 6. 1. 4. 1. 20120. 20. 1. 123. 1. 1.項番. indexになります。(項番=OID:2バイト)  
indexは、スロット番号1~10です。

(旧識別子は、1. 3. 6. 1. 4. 1. 20120.n. 項番. 0 となります。nは、スロット番号1~10になります。)

MIBデータが変化したときはトラップが発生します。(SNMPで設定(SET)された項番はトラップが発生しません。)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	バイト数	規格	実装例	SYNTAX	更新
3	product	R/O	4	機種コード	SNMP 機種コードで登録したコード 123(d)=7B(h)	SNMP_LTYP_INTEGER	
18	inputAudio	R/O	4	音声入力無しで 1 bit0:CH1 bit1:CH2	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
40	hard	R/O	4	LCA のバージョン情報 bit0~15:MAIN	英数字 2 文字	SNMP_LTYP_INTEGER	
1000	1Input Mode	R/W	4	Bit0:0=2Input Mode 1=1Input Mode	0	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1001	DIP Sw	R/O	4	Bit0~7:0=OFF 1=ON	0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1002	Input Audio Level CH1	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード、オフセットモード共通	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1003	Input Audio Level CH2	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード、オフセットモード共通	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1004	Output Audio Level out1L	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1005	Output Audio Level out1R	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1006	Output Audio Level out2L	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1007	Output Audio Level out2R	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1008	Output Audio Level out3L	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1009	Output Audio Level out3R	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1010	Output Audio Level out4L	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1011	Output Audio Level out4R	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1012	Output Audio Level out5L	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1013	Output Audio Level out5R	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1014	Output Audio Level out6L	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1015	Output Audio Level out6R	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1016	Output Audio Level out7L	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1017	Output Audio Level out7R	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1018	Output Audio Level out8L	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1019	Output Audio Level out8R	R/W	4	Bit0~8 ±20.0dBの調節 1ステップ 0.1dB 標準モード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1020	Output Level Offset 1	R/W	4	Bit0~8 ±10.0dBの調節 1ステップ 0.1dB オフセットモード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1021	Output Level Offset 2	R/W	4	Bit0~8 ±10.0dBの調節 1ステップ 0.1dB オフセットモード用	0(h)=-20dB C8(h)=0dB 190(h)=+20dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1022	Output Audio Level out1	R/W	4	Bit0~8 ±10.0dBの調節 1ステップ 0.1dB オフセットモード用	64(h)=-10dB C8(h)=0dB 12C(h)=+10dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1023	Output Audio Level out2	R/W	4	Bit0~8 ±10.0dBの調節 1ステップ 0.1dB オフセットモード用	64(h)=-10dB C8(h)=0dB 12C(h)=+10dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1024	Output Audio Level out3	R/W	4	Bit0~8 ±10.0dBの調節 1ステップ 0.1dB オフセットモード用	64(h)=-10dB C8(h)=0dB 12C(h)=+10dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1025	Output Audio Level out4	R/W	4	Bit0~8 ±10.0dBの調節 1ステップ 0.1dB オフセットモード用	64(h)=-10dB C8(h)=0dB 12C(h)=+10dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1026	Output Audio Level out5	R/W	4	Bit0~8 ±10.0dBの調節 1ステップ 0.1dB オフセットモード用	64(h)=-10dB C8(h)=0dB 12C(h)=+10dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1027	Output Audio Level out6	R/W	4	Bit0~8 ±10.0dBの調節 1ステップ 0.1dB オフセットモード用	64(h)=-10dB C8(h)=0dB 12C(h)=+10dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1028	Output Audio Level out7	R/W	4	Bit0~8 ±10.0dBの調節 1ステップ 0.1dB オフセットモード用	64(h)=-10dB C8(h)=0dB 12C(h)=+10dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○
1029	Output Audio Level out8	R/W	4	Bit0~8 ±10.0dBの調節 1ステップ 0.1dB オフセットモード用	64(h)=-10dB C8(h)=0dB 12C(h)=+10dB	SNMP_LTYP_INTEGER	○

アクセス R/O = Read only R/W = Read/Write

更新欄の○は動的に値が変化する項目です。通常は値が変化するとTrapが送信されますが、Trapが送信されない項目もあるので、必要に応じMIBを取得し値を参照してください。



## 無断転写禁止



- ・本書の著作権はビデオトロン株式会社に帰属します。
- ・本書に含まれる文書および図版の流用を禁止します。

## 緊急時の連絡先について

ご使用中の製品が故障する等緊急の際には、下記連絡先へご連絡をお願いいたします。

### 営業日の連絡先

**TEL.042-666-6329 FAX.042-666-6330**  
**E-Mail. cs@videotron.co.jp**

**ビデオトロン株式会社 製造技術部**

〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16 **受付時間 / 8:30～17:00**

### 土曜・日曜・祝祭日の連絡先

**【留守番電話】 TEL.042-666-6311**  
**【緊急時】 TEL.090-3230-3507**

携帯電話の為、通話に障害を起こす場合がありますのであらかじめご了承願います。

**受付時間 / 9:00～17:00**

**ビデオトロンWEBサイト**

**<http://www.videotron.co.jp/>**

**100773R09**

本書の内容については、予告なしに変更する事がありますので予めご了承下さい。